

楽しい！わかる！「北の森カルタ」の開発

北海道森林管理局 技術普及課 宮本 萌樹
今野 莉緒

研究の背景・目的

木育教材は多くありますが、北海道の森林・林業や国有林を紹介したものは少ないのが現状です。そこで、北海道民に向けた森林環境教育（木育）の新たな教材として大人（中学生以上）と子供（小学3年生前後）を対象とした2種類のカルタを試作・開発しました。北の森カルタを通じて遊び学ぶことにより、北海道の森林・林業についての理解や知識を深め、木材利用に対する関心や環境保全への理解を高めるとともに、森林への親しみを持つことに繋がることを目指しました。



読み札・絵札に道産材を利用。裏には北海道森林管理局の焼き印を押している。

研究の内容・成果

【読み札・絵札・解説本の作成】

カルタは、林業、生態系、文化、など8つにテーマを分類し様々な観点から興味を持ってもらえる内容にしました。絵札は自然の美しさをそのまま表現するため全て写真を使用し、そのほとんどが森林管理署の職員が撮影した地域性のある写真となっています。カルタの読み札と絵札については道産木材の化粧板（カバ）を使用し、木の温かみを感じさせ木材利用のPRにもなっています。また、解説本を作成することにより、読み札、絵札だけでは伝えきれない歴史的背景などの詳しい情報を伝え、新たな気づきを促し、自ら考える力を養う内容となりました。

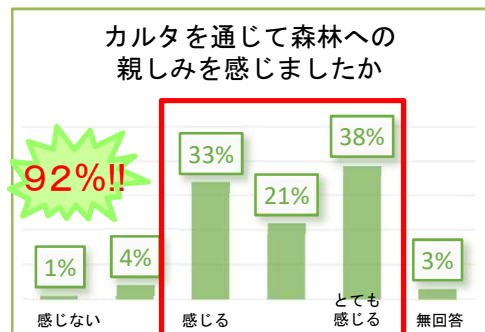


カルタの解説本

【アンケートの実施】

イベントの来場者や、森林環境教育に関心のある小中学校の先生・生徒に協力をいただきアンケートを実施。大人150人分、子供105人分のアンケートを回収することができました。「カルタを通じて森林への親しみを感じましたか」、「カルタを通じて林業について初めて知ったことはありましたか」、(表)では高い評価をたことから、カルタを通じて知識や情報がしっかり伝わっていることがわかりました。同時に自由記述でカルタに対する感想や改善点、取り入れたら良い内容など、数多くの感想や意見を頂き、読み札の文言をより読みやすくしたり、絵札のひらがなを大きく見やすくするなど改善することができました。

(表)



【カルタを使ったイベントの実施】

カルタを使用し、大人と小学生のための森林講座を開催することにより、研究成果を確認しました。講座では、テーマのレクチャーを導入に入れ、カルタ大会、解説本による説明、という流れのプログラムを作成し、参加者に体験してもらいました。イベント終了後参加者にアンケートを実施し、プログラム内容の検証を行いました。



イベントの実施

今後の方針

- ・今後も使用と検証を重ね、カルタと解説本の更なる改善により完成版製作を目指します。
- ・森林環境教育・木育を扱う教育関係者などが、このカルタを通じて北海道の森林・林業の普及啓発やPRを行うことのできるプログラム内容事例の作成及び普及を行います。